

原子力規制庁臨時ブリーフィング

- 日時：平成29年9月3日（日）
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：武山監視情報課長、根木放射線環境対策室長

<質疑応答>

○司会 それでは、お待たせいたしました。ただいまから原子力規制庁の臨時のブリーフィングといたしまして、北朝鮮による核実験による放射能影響の測定結果等についてのブリーフィングを始めさせていただきます。

今日の進め方でございますけれども、まず、原子力規制庁監視情報課長の武山から資料の説明をさせていただきます、その後、質疑応答という順番に進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、説明の方、お願いします。

○武山監視情報課長 原子力規制庁監視情報課長の武山です。

それでは、お手元の資料、「北朝鮮による核実験実施に対する放射能影響の観測結果等について（第1報）」をまず見ていただければと思います。

開いていただきますと、観測結果等についてということでございますが、今日、9月3日の北朝鮮による核実験の実施を受け、同日付で内閣官房副長官の指示に基づいて、我が国の放射能影響を把握するために関係機関の協力を得て放射能観測を実施しているところです。現在得られている測定結果は以下のとおりですということで、特別な変化は見られておりません。

「1. 空間線量率の測定結果」でございますが、47都道府県、環境省、公益財団法人日本分析センターが実施しているモニタリングポストによる空間線量率の測定結果（9月3日13時～9月3日17時）についてですけれども、特別な変化は見られませんでした。別紙1で一覧表がございます。

また、連続の測定値については、規制庁のホームページで御覧をいただけます。

「2. 参考情報」ですが、航空自衛隊機による高空の大気浮遊じん等の採取の際の参考として、WSPEEDIによる拡散予測結果を防衛省に提供しております。

今後の予定ですけれども、明日、また引き続き放射能測定について、御覧のような予定で公表を考えているところでございます。

2ページ、別紙1でございますが、これはモニタリングポストによる空間線量率の測定結果でございます。47都道府県の各測定地点の核実験前の値、それから、核実験後に関しては、当日13時～17時となっています。核実験前の値は、2年前、平成27年9月3日の12時から9月3日、今日の12時までの値の上値、下値、それから、平均値という形で書

いております。核実験後の値については、今日の13時～17時の上値と下値と平均値という形で記載をしているところがございます。御覧のとおり、核実験前と核実験後において有意な差はないということがございます。それがずっと7ページまであります。

それから、8ページ、別紙1ということで、モニタリングポストによる空間線量。これは日本分析センター、それから、環境省が離島に設置しているモニタリングポストの値ですけれども、これについても同じような形で、これは9月3日の零時から9月3日の13時までということで、2年間測定をしているところですが、その2年間の平均値とか、あとは、核実験当日の値は13時～17時の平均値という形で出しておりますけれども、これも有意な差はないということがございます。

それから、別紙2ということで開いていただきますと、WSPEEDIの結果ですが、航空自衛隊で大気浮遊じんを採取する際の参考として拡散予測を防衛省に提供しております。平成29年9月3日の13時から24時間連続でずっと放出していたと仮定して、放出率については10ページにございますけれども、1時間当たり1ベクレルというのが核種ごとに、ヨウ素131、キセノン133、セシウム137に関して、おのおの、そういう放出率をもって計算をしたところと。放出場所については、地震の情報から、この場所から出たということで、12時から24時間連続放出ということで行っております。ごめんなさい、9ページは13時からとなっておりますけれども、12時からということで、間違っております。12時からに訂正していただければと思います。

あと、11ページ以降、ヨウ素131の状態とかが、拡散予測ということで、色がついているところが少し広がっていく形が見てとれると思います。地表面と、あと上空1,000メートル、2,000メートル、3,000メートルという形で記載をしているところです。このような形で、取りあえず今のところの拡散状況はこのぐらいの拡散状況になっているということで、これは仮に出た場合でございます、仮にそれだけの放出があったとしたときに、計算するとこういう形になるということがございます。

説明は以上です。

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。

それでは、質問のある方。フジオカさん。

○記者 NHKのフジオカです。よろしく申し上げます。

後半の放射能の拡散予測なのですが、基本的にはヨウ素、キセノン、セシウムの放出予測を計算したところで、大体3,000メートル上空のところのものがかなり日本に近いといえますか、流れてきているように見えるのですが、幾つかあるデータの中で、一番日本に近づくパターンで言いますと、こういったものがこの中で言いますと該当しますか。拡散予測で一番近づくと言ったらあれですが、ケースとしてはこういったところが想定されますか。

- 武山監視情報課長 ケースというか、これはそのときの大気の状態とかを今の気象の情報から予測して、こういう形になっていますということなので、どれが日本に一番近づくのが早いのかということについては何とも言えないのですけれども。
- 記者 ただ、色がついたもので見ていると、大体、どの核種でも3,000メートルぐらいの高さのところ、時間がたったところを見ると、日本海の、どう言えばいいのですかね、東北ぐらいの緯度で日本海の上空というあたりかなと思うのですけれども、そのあたりで見てよろしいのですかね、予測としては。
- 武山監視情報課長 緯度がちょうど40度のところですか、これ。そこら辺のところ、今、色がついているところもありますねということだと思うのですけれども、これはあくまでも予測です。
- 記者 分かりました。あと、もう一点、現在のモニタリングポストの放射線量の観測なのですけれども、こちらは8時現在で特段異常な情報は入っていないということでしょうか。
- 武山監視情報課長 8時というのは20時ですか。
- 記者 そうです、20時。
- 武山監視情報課長 そうですね。異常な値があったという報告は今のところはありません。値としてはこういう形で、5時までの値を平均取ってやっています。
- 記者 分かりました。
- 司会 ほかに質問ある方。ミウラさん。
- 記者 読売新聞のミウラといいます。
モニタリングポストの数は約300カ所と言っていたと思いますが。
- 武山監視情報課長 2ページから7ページにかけては297カ所になります。それから、8ページが11カ所ありますので、308ということになりますね。
- 記者 合計308ということ。拡散予測なのですが、おおよそ位置関係どうでしょうね。日本列島から何キロメートルぐらいとか、言いあわせないものでしょうかね。そんなに日本列島には近づいてこないのだよというのを分かりやすく表現するにはどうすればいいのかなと。
- 武山監視情報課長 縮尺がないのでちょっと分かりませんが、今、日本海のところぐらいですねというところではあります。
- 記者 日本海の真ん中あたり、中央付近という。
- 武山監視情報課長 そうですね。出たとすれば、そのぐらいになるかなということしか、今のところ言えないのです。
- 記者 あと、拡散予測は、明日4日の18時めどで第4報として出てくるということなのか。また風向きなどを考慮して。

○武山監視情報課長 そうですね。4報でまた予測をします。

○記者 また変わる可能性もあるということですか。

○根木放射線環境対策室長 拡散予測については、本日お示ししているものは、明日、防衛省が航空機を飛ばす際に、どのあたりを飛ぶのがよいかということで、その参考とするための資料であります。また拡散予測するのは明後日ですね。また防衛省が飛行機を飛ばす際に、明後日はどのあたりをモニタリングするのがいいかの参考にさせていただくために第4報のものを提供すると、そういうものであります。

あと、この資料にも書いてありますが、御留意いただきたいのは、9ページの上あたりに書いてありますけれども、資料を参照する際の留意ということで、一番上の※なのですけれども、一般的に地下核実験の場合に大気中に放射性物質が放出されることは想定されませんということがありますので、今回のものはあくまでモニタリングする際の飛行経路の参考情報として一定の計算を仮定して拡散予測を行ったものでありますと書いてありますので、この点を御留意いただければありがたいと思います。

○記者 ありがとうございます。

○司会 今、説明された方、お名前を言ってください。

○根木放射線環境対策室長 失礼しました。放射線環境対策室長の根木と申します。

○司会 続けて、カンダさん。

○記者 自治通信のカンダです。

毎回核実験のときには今の御説明をいただいているのですけれども、規制委員会、規制庁の見解として、一般的に地下核実験のときには大気中に放射性物質が放出されることは想定されないということですのでよろしいですね。あと、第2報だと、高空の大気中浮遊じんの結果が出るということなのですが、これは自衛隊が採取したものという理解ですか。今後の公表予定の中で、第2報のところで大気中の浮遊じん、高空というのがあるのですが、これは。

○根木放射線環境対策室長 そのとおりです。

○記者 基本的には、どこを飛ぶのかは最終的には防衛省が決めるのかもしれませんが、この色のついているエリアを飛ぶという理解でいいですか。

○根木放射線環境対策室長 そのところについては、どのあたりを飛ぶかということで、参考情報として原子力規制庁からは提供すると。ただ、実際にどの辺を飛ぶかについては防衛省にお問い合わせいただければありがたいと思っております。

○記者 それから、モニタリングポストは常時リアルタイムに計測しているということで、今回の実験があったから計測頻度がふえるということはないと思うのですけれども、大気中の浮遊じんであるとか、あと、降水に伴う降下物の観測頻度は今回の事態を受けて頻度を上げたということはありませんでしょうか。

○武山監視情報課長 大気浮遊じんに関して、例えば、都道府県に関して、3カ月で1回測

定する、これを1日単位ということで、毎日やるということで頻度を高めたりとかしています。

○記者 降水に伴う降下物とかももう一つありました。

○武山監視情報課長 降水の降下物も同じように、これは月単位ですね。大体一月ごとだったのが、毎日やるという形でふえています。

○記者 今日からということでもいいですか。それとも明日からやるのですか。

○武山監視情報課長 一応、今日とって、分析するのに時間かかるので、すぐには出ないので、1日置いて出てくるとか、そういう形になりますので、時間がかかります。

○記者 では、第4報で出てくる地上の大気中浮遊じんは、今日とったものが明日出てくるという感じになるのですかね。

○武山監視情報課長 そうです。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 では、奥の方。

○記者 共同通信のクワシマと申します。

もう既にお話出していたら恐縮なのですが、キセノンと、先ほどあった降下物の結果はどれぐらいに発表いただける予定でしょうか。

○根木放射線環境対策室長 キセノンのデータについては、前処理などに相当時間がかかります。なるべく最速でと思っておりますが、過去には5日程度かかっているかと思えます。今回もなるべく早くやりますが、少しお時間かかることを御理解いただければ幸いです。

○記者 降下物の方はどうでしたか。降下物と大気浮遊じんは別途でとっていますか。一緒にとっていますか。

○根木放射線環境対策室長 降下物については、3日目には出せるかと思えます。

○司会 御質問ある方、どうぞ。

○記者 日本テレビのナカムラと申します。

WSPEEDIの図の見方なのですが、例えば、11ページの地図の横に5色の縦軸があるのですが、単位は何て書いてあるのですか。一番上が1のマイナス。

○根木放射線環境対策室長 Eのマイナス11乗と。マイナス11乗、マイナス12乗という、非常に小さい値になっております。この値の大きさ自体には余り大きな意味はなくて、10ページの計算の過程を見ていただきますと、一番コンピューターに負荷をかけないで計算をしようという観点から、どの物質も1番の仮定計算条件のところで1ベクレル・パー・アワーという基本単位のもので計算をしております。ですので、絶対値には余り大きな意味はないのですけれども、一応、単位を掲載しているところでもあります。

○記者 拝見すると、地上だとか、1,000メートルというのは風が回っているけれども、上

空に行くと、この時期、大陸から日本に風が吹いているという状況があるのでしょうか。どのバージョンも、2,000メートル、3,000メートルですと日本に寄ってきているというシミュレーションの結果になっているのですけれども、これはこの時期ということではなくて、今日こうだったということなのですか。

○根木放射線環境対策室長 矢印が風量の大きさであったりもしますが、そこは直近の実績のデータも加味して予測もしているということでもありますので、気象条件は随時変わっていくものでありますので、一般的なことは申し上げられないですが、明日の航空機を飛ばす際に参考にしていただくデータとしては、このような試算結果が出たということでもあります。

○司会 ほかは御質問のある方はいらっしゃいますか。よろしいですか。はい。

○記者 WJのスハラと申します。今回の核実験やミサイル発射を受けて、現在稼働している原発の停止命令を出すなどの御対応をとられる御予定はございますでしょうか。

○武山監視情報課長 そういう対応は今、する予定はないと思っています。

○司会 よろしいですか。ほかに御質問ある方、いらっしゃいますか。よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちましてブリーフィングを終了させていただきます。どうもお疲れさまでした。

—了—